

事務事業マネジメントシート
(兼)予算編成資料・実施計画資料

作成日 H 26 年 3 月 日作成

事務事業名	河川の補修事業 □ 実施計画事業	所属部局	建設部	単位番号	7033	
		所属課室	道路整備課	課長名	新津 元博	
基本政策	III うるおいと利便性のある都市づくり	所属担当	維持担当	担当者名	時田 一直	
政策	12 治水対策の河川等の整備	予算科目	会計	名称	款	項
施策	19 河川・水路の整備		01	一般	08	03
事業期間	□ 単年度のみ □ 単年度繰返 (開始年度 年度) □ 期間限定複数年度 (~ 年度)	法令根拠		目	細目	細々目
01	08	03	01	030	02	
事務事業の概要	事業の内容：期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 小規模河川、水路等の維持補修並びに改修工事を行う。H25から、工事は社会資本整備総合交付金事業を導入	事業費の主な内訳 (25年度 決算見込)				
		項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)	
		消耗品費	0			
		使用料	0			
		工事請負費	24,869			
		原材料費	0			
				計		24,869

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	小規模河川、水路等の維持補修並びに改修工事を実施
25年度活動実績	小規模河川、水路等の維持補修並びに改修工事を実施
26年度活動予定	小規模河川、水路等の維持補修並びに改修工事を実施予定
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	河川、水路利用者、市民
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)	河川、水路が整備される
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	生活環境が保全される

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア 工事箇所数		箇所
イ		
ウ		
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア 人口		人
イ		
ウ		
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア 實施箇所数/必要箇所数		%
イ		
ウ		
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア 河川、水路整備に関する住民の満足度		%
イ		

(2) 事業費・指標の推移		単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算・実績)	25年度 (決算見込・実績)	26年度 (予算・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間トータル	事業費	国庫支出金	千円		13,750				
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	6,180	16,088	11,119	4,859	98,178	
		事業費計 (A)	千円	6,180	16,088	24,869	4,859	98,178	0
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3	0
		延べ業務時間	時間	100	100	100	100	100	0
		人件費計 (B)	千円	455	455	455	455	455	0
		(A)+(B)	千円	6,635	16,543	25,324	5,314	98,633	0
									0
		活動指標	箇所	12.0	12.0	8.0	12.0	12.0	
		対象指標	人	72,833.0	72,900.0	72,181.0	73,100.0	73,100.0	
		成果指標	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
		上位成果指標	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	財政厳しい中、軽微な修繕作業を行う。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べどう変化しているか?また、今後の予測は?	緊急性の高い修繕、敏速に対応出来、安価である。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	修繕箇所も多く、敏速に対応しているため喜ばれている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	箇所数も多く、敏速に対応するよう心がけている。
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	箇所数も多く、敏速に対応するよう心がけている。

事務事業名	河川の補修事業	所属部	建設部	所属課	道路整備課
-------	---------	-----	-----	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 排水利用者の安全確保を図ることにより目的との整合性が出来る。	
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 公共施設等の適正維持管理は、市が行う義務がある。	
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。□ 民間・NPO □ 市民協働 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 水路等の老朽化が進む中、地域住民からの要望等も多く、継続していくことが妥当である。	
有効性評価	④成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 必要最小限の人員と時間において執行しているため、向上の余地はない。	
効率性評価	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない	
公平性評価	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 地域要望であるため出来ない	<input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 地域要望であるため出来ない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 積算システムの運用及び事務事業の精査によるコスト縮減に努めているため削減の余地はない。	
公平性評価	⑧人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 積算システムの運用及び事務事業の精査によるコスト縮減に努めているため削減の余地はない。	
公平性評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 事業の推進につながるので公平、公正である。	

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	市内には河川が非常に多く、改修や修繕の必要な箇所も年々増加傾向にある。地区要望や危険箇所の河川については、早急かつ適切に実施していく必要がある。
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)…複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																							
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果)																							
<input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果)																							
<input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)																							
(2)改革改善案について	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>		コスト水準			削減	維持	増加	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		低下	<input type="checkbox"/>			下			
	コスト水準																							
	削減	維持	増加																					
向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																					
維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																						
低下	<input type="checkbox"/>																							
下																								
(4)改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5)事務事業優先度評価結果 平成25年度																							
	成果優先度評価結果																							
	コスト削減優先度評価結果																							